

瀬戸市の総合事業について

高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる社会の実現

「第6期 瀬戸市老人福祉計画・介護保険事業計画」

瀬戸市が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することにより、地域の支え合いの体制づくりを推進し、居宅要支援被保険者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目的として以下の事業に取り組みます。

1 介護予防・生活支援サービス事業【対象者：要支援1・2、事業対象者】

高齢者が可能な限り自立した生活を続けていくためには、総合事業の取組等により要支援・要介護状態になることを可能な限り防ぎ、また、要介護状態になっても、状態がそれ以上悪化しないよう、高齢者の状態に応じた生活支援・介護予防サービスの充実を図ります。

現在、瀬戸市で取り組まれている事例

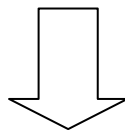
実施主体	サービス内容
介護事業所	介護予防給付
瀬戸市	いきいき教室・軽度生活援助 他
瀬戸市シルバー人材センター	家事援助支援サービス
一部の地域力向上委員会 「お助け隊」	近所の困りごとを地域で支え合うサービス

今後は、こうした地域団体、NPOやボランティアなどを始めとした、様々な事業主体と連携しながら、多様な生活支援サービスを提供する体制を整備することが求められており、本市では介護サービス事業者による現行の訪問介護・通所介護に相当するサービスのほか、新たな担い手による訪問型と通所型の多様な生活支援サービスの提供をめざします。

2 一般介護予防事業 【対象者：65歳以上のすべての方】【資料6参照】

これからの介護予防は、地域のなかに生きがいや役割を持って生活できるような居場所と出番づくりなど、高齢者本人を取り巻く環境への対応も含めた、バランスのとれたアプローチが重要となってきます。

現在実施している介護予防事業		
事業	一次予防事業	二次予防事業
対象者	すべての高齢者とその支援者を対象	要介護状態となるおそれのある高齢者を対象



今後実施していく介護予防事業	
事業	一般介護予防事業
対象者	すべての高齢者とその支援者を対象